



第四九回消防救助技術秋田県大会
(秋田県消防長会主催)が五月二四
日及び六月三日の両日開催され、出
場隊員は日頃鍛えた救助技術を競い
ました。
五月二四日秋田県立総合プール

消防救助技術秋田県大会
秋田県消防長会



題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 高橋 正 尚
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp
印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>



(秋田市向浜)で開催された「水上
の部」には一消防本部から三四人
が、六月三日秋田県消防学校で開催
された「陸上の部」には、一三消防
本部から一〇六人が出場しました。
「陸上の部」開会式で、大曲仙北
広域市町村圏組合消防本部 高橋明
士 消防副士長が「新型コロナウイルス禍の
なか、訓練ができることに感謝し、
これまで培ってきた体力、精神力、

全国大会・東北指導会出場隊

〔全国大会〕 ◇陸上の部

| 種 目 名 | 消防本部名 | 隊員(チーム)名 |
|-----------|-----------|----------|
| ロープブリッジ渡過 | 由利本荘市消防本部 | 佐藤 雄 飛 |
| はしご登はん | 由利本荘市消防本部 | 高橋 悠 太 |

〔東北指導会〕 ◇陸上の部

| 種 目 名 | 消防本部名 | チ ャ ム 名 |
|-----------|------------|-----------|
| 引揚救助 | 秋田市消防本部 | 越川 俊 チーム |
| ロープブリッジ救出 | 横手市消防本部 | 佐藤 直也 チーム |
| | 能代山本広域消防本部 | 小川 稜二 チーム |
| 障害突破 | 秋田市消防本部 | 佐藤 隆介 チーム |

◇水上の部

| 種 目 名 | 消防本部名 | 隊員(チーム)名 |
|---------|------------|-------------|
| 複 合 検 索 | 五城目町消防本部 | 菊 地 航 平 |
| | 鹿角広域消防本部 | 大 森 依 志 樹 |
| | 鹿角広域消防本部 | 木 村 匠 |
| | 北秋田市消防本部 | 木 村 亮 太 |
| 基 本 泳 法 | 横手市消防本部 | 鈴 木 貴 大 |
| | 能代山本広域消防本部 | 伊 藤 雅 道 |
| 人 命 救 助 | 男鹿地区消防本部 | 田 中 謙 也 チーム |
| 溺 者 救 助 | にかほ市消防本部 | 佐々木 佑 チーム |
| 水 中 検 索 | にかほ市消防本部 | 須 田 翔 馬 チーム |

救助技術を存分に発揮し、二年
分の思いを込め、安全・確実・
迅速に訓練することを誓いま
す」と宣誓しました。
競技の結果、全国大会・東北
指導会への出場隊は、別紙のと
おり決定しました。
なお、七月に宮城県で予定されて
いた東北指導会と一〇月に福岡県で
予定されていた全国大会は、いづれ
も新型コロナウイルスの影響により中止にな
りました。



75期 第1任教

実務研修を 終えて

秋田県消防学校



遠藤 敏希
(秋田市消防本部)

七月一日の実務研修では、初めて当直勤務を経験した。火災があれば先輩方と出動することになっていたので、強い緊張感を持って臨んだ。訓練のホース延長では、結合部の取り扱いや曲がる際の余裕ホースの取り方など、スピードの中にも繊細さが必要だと感じた。また、丁寧に収納することで車両との結合が良くなるなど、素早い放水が可能になることを学んだ。放水訓練では、実践を想定して狙いを定めたり、圧力の切替を行った。

先輩方からアドバイスを頂き、自分で放水を操ることができるようになり達成感を感じた。

食事、入浴、仮眠中も出動に備えて過ごすことの大変さを実感するとともに、勤務後の時間の過ごし方次第で私生活が有意義になることを知ることができた。所属に戻り、現場の最前線で活躍できるよう残りの期間、一生懸命訓練に励みたい。



加勇田 怜王
(秋田市消防本部)

今回、初めて二四時間勤務を経験しました。

午前中はホースバックの訓練を行いました。とても重くてきつかったです。火災現場ではよく使うと思うので、耐えられるように錬成したいです。

放水訓練では、圧力を高くしてやりましたが、少しよけてしまったので、基本注水姿勢を意識してしっかりとやりたいです。

午後は、三連梯子とホースカーの訓練を行いました。三連梯子は、学校で習ったことと違いがありました。どちらも大切にしたいです。

ホースカーは初めてで、操作方法、取り出しと収納について学びました。運搬方法では、しっかりとブレーキを離さないようにし、二番員の補助も連結部分が突っかかるころがあったので、声を掛け合い操作するようにしたいです。

今回は、初めての訓練もありましたが、しっかりと覚えたいです。訓練以外にも、料理などもできるようにしたいです。

八月にもう一度実務研修があるので、成長していきたいです。



佐々木 洸凜
(にかほ市消防本部)

今回は、覚えることがたくさんあった分、良い研修になった。

午前中は、車両の積載器具点検を行った。車両のあらゆるところに資材があり、一日も早く名称と使い方を覚えるようにしたい。

午後は、ホースカーを使ったホース延長、放水訓練を行った。

ホースの取り扱いでは自分の力の無さを感じた。消せるはずの火を消せなくなることがないよう、どれだけ早くホースを延長し放水できるかを考え工夫しながら、これからの訓練に取り組んでいきたい。

また、初めて通信指令室を見学した。いつ電話が来るかわからない緊張感、来てからの対応、見るだけでも学ぶことが多くあった。二ヶ月後に、私も通信指令室に入り口頭指導できるように頑張りたい。

所属に戻ったら、新人として生活面や事務の仕事もしなければならぬ。次の実務研修では、そうした細かいところまで目を配れるようにしたい。技術的、体力的なことも、胸を張って「学んでいる」と言えるよう、これから頑張っていきたい。



田中 優真
(鹿角広域行政
組合消防本部)

今回は宿泊の研修だったため、少し緊張していた。

午前中の結算訓練では、一年先輩の方と競争しながらやった。ほとんどの結算で一番早くできて嬉しかった。やっぱり復習は大事なんだと改めて感じた。

午後の救急訓練は、学校でもやっていたのでしっかりできた。所属の方のアドバイスを忘れないようにしたい。

実践的な出動訓練では、防火衣着装、ホース延長、放水の一連の流れを行った。反省点は、着装の速さと呼称の声の大きさだ。

着装は先輩方に比べ圧倒的に遅く、今後の課題と感じた。そして急ぐと、どうしても呼称の声が小さくなってしまふ。自分のしていることを知らせるためにも大きな声で行いたい。

夜は通信勤務要領をやった。通報があると短い時間で多くのことを聞き出し、手当の指示も出さなければならず大変だと思った。

寝ている時にも入電があったが、これにも慣れなければいけないと思う。次の実務研修も頑張りたい。



加藤 星那
(男鹿地区消防一部
事務組合消防本部)

初めての泊まりでの研修だった。

一日目はホース延長訓練から始まった。学校で学んだものとは違い、渋川式の火災防ぎよ戦術だった。事前にレクチャーをしてもらい、実技を行ったが、ホース結合や放水姿勢など学校で勉強したことが活かされた。やはり消防学校で学んだことに無駄なことは一つもなく、基本が大事なのだと改めて感じた。

夜は、通信指令室で説明を受けた。実際に通報が入り、緊迫した現場を目の当たりにした。

焦っている通報者に冷静に対処し、安心するように声を掛けながらも、様々な情報を聞き出している姿に感心した。

今回の研修で、一日の流れや通信勤務など、消防学校で学べないことを学ぶことができた。一番の収穫は、自分はまだまだ未熟であることが分かったことだ。これに気が付いたなら、行動も気持ちも変えていかなければならないと思う。

一日一日を大切に充実したものとしていけるように、必死に励んでいきたい。



齋藤 輝弥
(大曲仙北広域市町
村圏組合消防本部)

今回の実務研修で感じたことが三つあります。

一つ目は、規律の大切さです。朝の交代要領から車両点検、上司との会話など全てが規律良く行われており、敬礼のキレの良さ、整列休めから気を付けの素早さなど、先輩達の動きを見て、規律の良さを日常的にできるようにしたいと思います。

二つ目は、基本の大切さです。三連梯子や三重もやいのコツを教わりましたが、基本ができているからそのコツであると感じました。

三つ目は、予防など各担当の仕事の大切さです。研修中の予防に関する座学や立入検査を通じて、市民の命を守るために、消火以外でも大事な仕事があることを改めて学ぶことができました。

即戦力となるために、自分には何が足りず、何が必要なのかを考えることができた研修でした。

目標を口で言うのは簡単なことであり、いかに行動に移せるかがその後の成長に大きく関わってくると思うので、残りの三ヶ月も頑張っていきたいです。



田口 大翔
(湯沢雄勝広域市町
村圏組合消防本部)

今回は、一回目に比べると大変勉強になったし、良い経験となった。

午前中の放水訓練では、学校で実施していない折り島田のホース延長方式やガンタイプノズルを使用したのが、学校で学んだポンプ車操作の知識を利用し、スムーズに行うことができた。

一番勉強になったのは時間外の活動だ。一七時以降の事務仕事も見学することができて、正直こういう仕事もあるのかと驚いた。

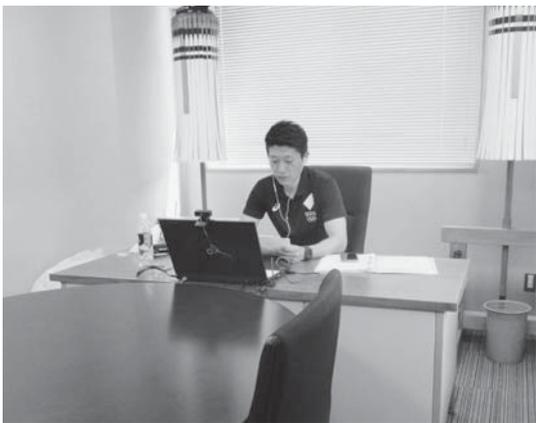
次の日の隊編成を決めたり、出勤内容をまとめる書類など、想像もしていなかった仕事が多山あった。火災調査について、為になる話を聞けて大変勉強になった。

また、研修中に出勤指令が何度もかかり、深夜二時頃の出勤指令では先輩方が素早く準備をしていた。今回の研修を通じて消防業務の一日の流れをつかむことができた。

本署に残っている同期とゆつくり話ができたのは、お互いに良い刺激になったと思う。

三回目の研修では、自分達から積極的に行動できるようにしたい。





会議中の板橋知也リーダー

第一回若手消防団員 活性化推進会議

六月一日(金)、第一回若手消防団員活性化推進会議をオンラインで開催しました。

会議では、来年二月に行う第二回若手消防団員交流会について協議しました。

その結果、昨年度と同様、講演とグループディスカッションを行うこととし、ディスカッションの結果を令和四年度の秋田県消防大会で発表することにしました。

- ・ 開催日 令和四年二月五日(土)
- ・ 開催場所 イヤタカ(秋田市中通)
- ・ 対象者 各消防団から概ね四〇歳までの団員一名



ZOOMによる会議の様子

女性消防団ネットワーク会議 開催準備委員会

六月一日(火)、女性消防団ネットワーク会議開催準備委員会をオンラインで開催しました。

今年度は九名の委員のうち四名が交代し、リーダーに佐々木教子さん(由利本荘市消防団)、サブリーダーに佐藤久子さん(大仙市消防団)が選ばれました。

今年度の会議は、講演を行うこととし、テーマ等については、一〇月五日の第二回準備委員会で協議することになりました。

- ・ 開催日 令和三年二月一日(土)
- ・ 開催場所 イヤタカ(秋田市中通)

令和3年度消防団員数の概要

令和3年4月1日現在の消防団員数(速報値)の概要は次のとおりです。(秋田県総合防災課調査)

1. 消防団員数は15,473人

消防団員数は減少数が拡大傾向にあり、前年同期比421人減の15,473人となりました。条例定数充足率は84.8%、被雇用者率(サラリーマン化率)は81.3%となっています。(単位:人、%)

| | H28. 4. 1 | H29. 4. 1 | H30. 4. 1 | H31. 4. 1 | R 2. 4. 1 | R 3. 4. 1 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 消防団員数 | 17,177 | 16,900 | 16,653 | 16,274 | 15,894 | 15,473 |
| 前年同期比増減数 | △ 143 | △ 277 | △ 247 | △ 379 | △ 380 | △ 421 |
| 条例定数充足率 | 89.86 | 88.92 | 88.26 | 87.71 | 85.94 | 84.8 |

2. 女性消防団員は14人増の429人

女性消防団員は年々増加しており、前年同期比14人増の429人となりました。(単位:人、団)

| | H28. 4. 1 | H29. 4. 1 | H30. 4. 1 | H31. 4. 1 | R 2. 4. 1 | R 3. 4. 1 |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 女性消防団員数 | 355 | 362 | 384 | 390 | 415 | 429 |
| 前年同期比増減数 | 31 | 7 | 22 | 6 | 25 | 14 |
| 女性団員採用消防団数 | 21 | 22 | 25 | 19 | 21 | 20 |

3. 機能別団員は19消防団、1,163人

機能別団員制度が県内に導入されたのは平成19年度からですが、年々増加しており、前年同期比118人増の1,163人となりました。(単位:人、団)

| | H28. 4. 1 | H29. 4. 1 | H30. 4. 1 | H31. 4. 1 | R 2. 4. 1 | R 3. 4. 1 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 機能別団員数 | 512 | 594 | 716 | 817 | 1,045 | 1,163 |
| 前年同期比増減数 | 161 | 82 | 122 | 101 | 228 | 118 |
| 機能別団員制度導入消防団数 | 8 | 9 | 12 | 14 | 18 | 19 |

令和3年度消防団員数(令和3年4月1日現在)

(単位:人、%)

| 地域名 | 消防団名 | 条例 定数 | 実 団 員 数 | | | | 定 数 充足率 | 女 性 団員率 | 前年同期比較 | |
|-----|-------|----------|---------|--------|-----|------------------|------------|------------|--------|-------|
| | | | 総数 | 男性 | 女性 | うち 機能別 団員数 | | | 団員数 | 増減数 |
| 鹿 角 | 鹿角市 | 892 | 778 | 749 | 29 | 77 | 87.2 | 3.7 | 796 | △ 18 |
| | 小坂町 | 150 | 119 | 117 | 2 | 0 | 79.3 | 1.7 | 124 | △ 5 |
| | 地域計 | 1,042 | 897 | 866 | 31 | 77 | 86.1 | 3.5 | 920 | △ 23 |
| 北秋田 | 大館市 | 980 | 939 | 844 | 95 | 54 | 95.8 | 10.1 | 977 | △ 38 |
| | 北秋田市 | 760 | 638 | 609 | 29 | 35 | 83.9 | 4.5 | 648 | △ 10 |
| | 上小阿仁村 | 100 | 74 | 74 | 0 | 6 | 74.0 | 0.0 | 81 | △ 7 |
| | 地域計 | 1,840 | 1,651 | 1,527 | 124 | 95 | 89.7 | 7.5 | 1,706 | △ 55 |
| 山 本 | 能代市 | 850 | 653 | 602 | 51 | 118 | 76.8 | 7.8 | 660 | △ 7 |
| | 藤里町 | 125 | 106 | 106 | 0 | 0 | 84.8 | 0.0 | 109 | △ 3 |
| | 三種町 | 507 | 422 | 411 | 11 | 63 | 83.2 | 2.6 | 430 | △ 8 |
| | 八峰町 | 330 | 255 | 250 | 5 | 26 | 77.3 | 2.0 | 257 | △ 2 |
| | 地域計 | 1,812 | 1,436 | 1,369 | 67 | 207 | 79.2 | 4.7 | 1,456 | △ 20 |
| 南秋田 | 男鹿市 | 820 | 762 | 746 | 16 | 93 | 92.9 | 2.1 | 768 | △ 6 |
| | 潟上市 | 508 | 443 | 426 | 17 | 9 | 87.2 | 3.8 | 438 | 5 |
| | 五城目町 | 205 | 172 | 165 | 7 | 41 | 83.9 | 4.1 | 169 | 3 |
| | 八郎潟町 | 75 | 65 | 65 | 0 | 0 | 86.7 | 0.0 | 68 | △ 3 |
| | 井川町 | 145 | 115 | 110 | 5 | 3 | 79.3 | 4.3 | 118 | △ 3 |
| | 大潟村 | 67 | 57 | 57 | 0 | 13 | 85.1 | 0.0 | 58 | △ 1 |
| | 地域計 | 1,820 | 1,614 | 1,569 | 45 | 159 | 88.7 | 2.8 | 1,619 | △ 5 |
| 秋 田 | 秋田市 | 2,100 | 1,665 | 1,638 | 27 | 122 | 79.3 | 1.6 | 1,746 | △ 81 |
| 由 利 | 由利本荘市 | 1,802 | 1,500 | 1,485 | 15 | 200 | 83.2 | 1.0 | 1,550 | △ 50 |
| | にかほ市 | 540 | 472 | 459 | 13 | 53 | 87.4 | 2.8 | 503 | △ 31 |
| | 地域計 | 2,342 | 1,972 | 1,944 | 28 | 253 | 84.2 | 1.4 | 2,053 | △ 81 |
| 仙 北 | 大仙市 | 1,375 | 1,051 | 1,022 | 29 | 0 | 76.4 | 2.8 | 1,106 | △ 55 |
| | 仙北市 | 630 | 509 | 494 | 15 | 20 | 80.8 | 2.9 | 536 | △ 27 |
| | 美郷町 | 405 | 343 | 342 | 1 | 19 | 84.7 | 0.3 | 345 | △ 2 |
| | 地域計 | 2,410 | 1,903 | 1,858 | 45 | 39 | 79.0 | 2.4 | 1,987 | △ 84 |
| 横 手 | 横手市 | 2,500 | 2,242 | 2,215 | 27 | 152 | 89.7 | 1.2 | 2,287 | △ 45 |
| 雄 勝 | 湯沢市 | 1,705 | 1,527 | 1,502 | 25 | 59 | 89.6 | 1.6 | 1,552 | △ 25 |
| | 羽後町 | 467 | 407 | 407 | 0 | 0 | 87.2 | 0.0 | 408 | △ 1 |
| | 東成瀬村 | 200 | 159 | 149 | 10 | 0 | 79.5 | 6.3 | 160 | △ 1 |
| | 地域計 | 2,372 | 2,093 | 2,058 | 35 | 59 | 88.2 | 1.7 | 2,120 | △ 27 |
| 計 | 25消防団 | 18,238 | 15,473 | 15,044 | 429 | 1,163 | 84.8 | 2.8 | 15,894 | △ 421 |

消防団員を募集しています

自分のまちを災害から守り、まちの安全と安心をつくる消防団員を募集しています。

消防団員を募集している消防団は次のとおりですが、その数や応募条件は令和3年4月時点のものです。詳細については、市町村の消防担当課または消防本部にお問い合わせ下さい。

多くの方の応募をお待ちしております。

| 消防団名 | 募集团員数(人) | | | 応募の条件 | | 問い合わせ先 | |
|-------|----------|-------|----|--------------|--------|-----------------|--------------|
| | 総数 | 男性 | 女性 | 現住所・勤務地 | 年齢 | 課所名 | 電話番号 |
| 鹿角市 | 114 | 性別は不問 | | 当市に居住又は勤務 | 18歳以上 | 消防本部 | 0186-23-5601 |
| 小坂町 | 31 | 性別は不問 | | 当町に居住又は勤務 | 18歳以上 | 町民課 | 0186-29-3928 |
| 大館市 | 41 | 性別は不問 | | 当市に居住又は勤務 | 18歳以上 | 消防本部 | 0186-43-4152 |
| 北秋田市 | 122 | 性別は不問 | | 当市に居住する者 | 18歳以上 | 消防本部 | 0186-62-1119 |
| 上小阿仁村 | 26 | 26 | 0 | 当村に居住又は勤務 | 18歳以上 | 住民福祉課 | 0186-77-2222 |
| 能代市 | 197 | 性別は不問 | | 当市に居住又は勤務 | 18～64歳 | 能代消防署 | 0185-52-3311 |
| 藤里町 | 19 | 19 | 0 | 当町に居住する者 | 18～59歳 | 生活環境課 | 0185-79-2115 |
| 三種町 | 85 | 性別は不問 | | 当町に居住又は勤務 | 18歳以上 | 町民生活課 | 0185-85-4823 |
| 八峰町 | 75 | 性別は不問 | | 当町に居住又は勤務 | 18歳以上 | 総務課 防災まちづくり室 | 0185-76-4666 |
| 男鹿市 | 58 | 性別は不問 | | 当市に居住、通勤又は通学 | 18歳以上 | 危機管理室 | 0185-24-9113 |
| 潟上市 | 65 | 性別は不問 | | 当市に居住又は勤務 | 18歳以上 | 総務課 | 018-853-5301 |
| 五城目町 | 33 | 性別は不問 | | 当町に居住、通勤又は通学 | 18歳以上 | 消防本部 | 018-852-2028 |
| 八郎潟町 | 10 | 性別は不問 | | 当町に居住又は勤務 | 18歳以上 | 町民課 | 018-875-5806 |
| 井川町 | 30 | 性別は不問 | | 当町に居住又は勤務 | 18歳以上 | 町民生活課 | 018-874-4416 |
| 大潟村 | 10 | 性別は不問 | | 当村に居住又は勤務 | 18歳以上 | 生活環境課 | 0185-45-2114 |
| 秋田市 | 435 | 性別は不問 | | 当市に居住、通勤又は通学 | 18～50歳 | 消防本部警防課 | 018-823-4000 |
| 由利本荘市 | 302 | 性別は不問 | | 当市に居住又は勤務 | 18歳以上 | 消防本部 | 0184-22-4282 |
| にかほ市 | 68 | 67 | 1 | 当市に居住又は勤務 | 18歳以上 | 消防本部 | 0184-38-2311 |
| 大仙市 | 324 | 性別は不問 | | 当市に居住又は勤務 | 18歳以上 | 総合防災課 | 0187-63-1111 |
| 仙北市 | 121 | 性別は不問 | | 当市に居住する者 | 18歳以上 | 総合防災課 | 0187-43-1115 |
| 美郷町 | 62 | 性別は不問 | | 当町に居住する者 | 18～55歳 | 住民生活課 | 0187-84-4903 |
| 横手市 | 258 | 性別は不問 | | 当市に居住又は勤務 | 18歳以上 | 消防本部 | 0182-32-1111 |
| 湯沢市 | 178 | 性別は不問 | | 当市に居住又は勤務 | 18歳以上 | 総務課 | 0183-55-8250 |
| 羽後町 | 60 | 性別は不問 | | 当町に居住又は勤務 | 18～64歳 | 町民生活課 | 0183-62-2111 |
| 東成瀬村 | 41 | 性別は不問 | | 当村に居住又は勤務 | 18歳以上 | 民生課 | 082-47-3403 |

秋田県土砂風水害機動 支援部隊訓練を実施

秋田県消防長会

全国で多発する大規模な土砂・風水害に対応するため、災害現場での救助活動に活用する特殊車両・資機材が本県に配備され、全国の消防機関相互による緊急消防援助隊に登録されたことから、五月二八日、秋田市で参集訓練を実施しました。

訓練には、当部隊を構成する三消防本部を含む一三消防本部から八六名が参加し、隊の中核となる水陸両用バギー、重機及び燃料補給車に関する知識や技術を共有しました。

今後、災害の多様化・大規模化に備え、県内消防本部が連携し、災害対応強化に取り組みます。



集 結

秋田県土砂風水害機動支援部隊

| 小隊名 | 車 両 名 | 消防本部 |
|---------|--------------|--------------|
| 指 揮 隊 | 指揮車 | 秋田市 |
| 救 助 小 隊 | 津波・大規模風水害対策車 | 秋田市 |
| | 救助工作車 | 大曲仙北広域市町村圏組合 |
| 特殊装備小隊 | 重機・重機搬送車 | 大館市 |
| 後方支援小隊 | 燃料補給車 | 大曲仙北広域市町村圏組合 |
| | 支援車 | 秋田市 |



水陸両用バギー



燃料補給車



重 機

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋 田 県 代 理 店

総合防災設備センター

株式会社 高 義 商 会

- (営業種目)
- トーハツ小型動力ポンプ
 - モリタ自動車ポンプ
 - ジェットホース
 - 消防被服全般
 - 火災報知器各種
 - 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 ギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- 消防設備保守点検
- トーハツポンプ
- キンパイホース
- 各種消防機械器具
- 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

支部情報アラカルト

コロナ禍でも工夫して 頑張っています!

当支部では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種事業の規模を縮小する等、コロナ禍でもできる事業を推進しています。

特に、水防訓練、教養訓練では、それぞれ地元地域で少人数での訓練を実施し、訓練練度と規律の維持に努めています。

また、安全管理面では、「消防団安全管理マニュアル」を作成し、幹部団員への講習会を実施するとともに、



水防訓練DVD視聴

に、管内ポンプ格納庫へ各一冊を配布して、自学研鑽により知識の習得が図れる環境を整える予定です。

その他、啓蒙活動として、小学生を対象とした「火災予防作品コンテスト」を今年度新たに企画しました。夏休み期間に募集し、作品は、秋の火災予防運動期間に防災行政無線で放送するほか、防火チラシに掲載し、全戸配布することを計画しています。

新型コロナウイルスの影響により訓練や研修の機会が減ってしまいましたが、今できる活動を実践し、消防団として地域の防災力向上につなげていきたいと思えます。



水防訓練ロープワーク

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

| | 令和3年 | | 令和2年 | | | 同期比較 | |
|------|------|-----|------|-----|-----|------|-----|
| | 7月 | 累計 | 7月 | 累計 | 年計 | 7月 | 累計 |
| 建 物 | 14 | 118 | 9 | 90 | 173 | 5 | 28 |
| 林 野 | 4 | 22 | 0 | 20 | 24 | 4 | 2 |
| 車 輛 | 0 | 20 | 2 | 17 | 27 | - 2 | 3 |
| その他 | 15 | 55 | 2 | 59 | 82 | 13 | - 4 |
| 合 計 | 33 | 215 | 13 | 186 | 306 | 20 | 29 |
| 死者数 | 4 | 19 | 3 | 8 | 24 | 1 | 11 |
| 負傷者数 | 4 | 40 | 2 | 24 | 60 | 2 | 16 |



(情報提供) 湯沢市雄勝郡支部

火災予防作品コンテスト

メッセージ&標語を募集!!

募集期間: 令和3年8月1日(日)～11月13日(土)

募集対象: 小学生(5名)、中学生(10名)

賞品: 消防グッズ、図書券2,000円分、図書券(10名)、消防グッズ、図書券1,000円分

応募方法: 賞品の応募用紙に記入し、学校に提出してください

募集期間: 令和3年7月1日から令和3年8月31日まで

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防

ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備

火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル3F FAX 018 (824) 3651

モリタ消防ポンプ シバウラポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361